

教科・科目	福祉・社会福祉基礎	単位数	4（前期2＋後期2）		
		ライン	2	開講期	前期と後期
備考					

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	(1) 社会福祉について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 (2) 社会福祉の発展に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付ける。 (3) 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。
使用教科書 副教材等	社会福祉基礎（実教出版）

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	社会福祉について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	社会福祉の発展に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	第1編 社会福祉の理念と意義 第2編 社会福祉の歴史と次代の展望 第3編 生活を支える社会福祉・社会保障制度（第1章）	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	第3編 生活を支える社会福祉・社会保障制度（第2章～第6章） 第4編 人間関係とコミュニケーション 第5編 地域福祉の進展と多様な社会的支援制度	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	前期4回以上、後期4回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	各期1回までスクーリング回数に含めることができる。
レポート	前1回～前6回、後1回～後6回のすべてに合格すること。	
試験	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	

5 学習の記録			添削担当者				先生		登録		
スクーリング 回数		学 習 内 容	レポート					スクーリング実施日			
			回	提出日・合格			日 S	月 S	火 S	木 S	
前期	①	第1編 社会福祉の理念と意義	前1	1		2		4/20	—	4/22	4/24
	3			4							
	②	第2編 社会福祉の歴史と次代の展望 - 諸外国における社会福祉①	前2	1		2		5/11	—	5/13	5/15
	3			4							
	③	この回は、実施されません。									
	④	第2編 社会福祉の歴史と次代の展望 - 諸外国における社会福祉②	前3	1		2		6/8	—	6/10	6/12
	3			4							
	⑤	第2編 社会福祉の歴史と次代の展望 - 日本における社会福祉①	前4	1		2		6/22	—	6/24	6/26
3		4									
⑥	第2編 社会福祉の歴史と次代の展望 - 日本における社会福祉②	前5	1		2		7/6	—	7/8	7/10	
3			4								
⑦	第3編 生活を支える社会福祉・社会保障制度 - 社会保障の意義と役割	前6	1		2		7/20	—	7/22	7/24	
3			4								
試験	レポート前1～前6の内容		本試験		追再試		8/24	—	8/26	8/28	
後期	⑧	第3編 生活を支える社会福祉・社会保障制度 - 子ども家庭福祉	後1	1		2		10/12	—	10/14	10/16
	3			4							
	⑨	第3編 生活を支える社会福祉・社会保障制度 - 障害者福祉	後2	1		2		10/26	—	10/28	10/30
	3			4							
	⑩	第3編 生活を支える社会福祉・社会保障制度 - 高齢者福祉と介護保険制度	後3	1		2		11/9	—	11/11	11/6
	3			4							
	⑪	第3編 生活を支える社会福祉・社会保障制度 - 公的扶助と社会保険制度	後4	1		2		11/23	—	11/25	11/27
	3			4							
⑫	この回は、実施されません。										
⑬	第5編 地域福祉の進展と多様な社会的支援制度	後5	1		2		12/21	—	12/23	12/25	
3			4								
⑭	第4編 人間関係とコミュニケーション	後6	1		2		1/11	—	1/13	1/15	
3			4								
試験	レポート後1～後6の内容		本試験		追再試		2/1	—	2/3	1/29	

6 先生からのメッセージ

前期は、福祉の発展や歴史について学習します。後期は、前期で得た知識をもとに、私たちの生活を支える福祉や社会的支援について学習をしていきます。スクーリングやレポートでは、年齢や障害等の有無に関わらず「共に支え合って生きていくために自分ができることはないか」という視点で、学習に取り組んでほしいと思っています。教科書の内容は専門用語が多いため、できるだけ毎回のスクーリングに出席し、理解を深めましょう。

教科・科目	福祉・介護福祉基礎	単位数	4（前期2＋後期2）		
		ライン	4	開講期	前期と後期
備考					

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	(1) 介護に必要な知識や意義、役割について体系的・系統的に理解していると共に、関連する介護技術を身に付ける。 (2) 介護に関する諸問題を発見し、介護者としての倫理観をふまえて、合理的かつ創造的に解決する力を身に付ける。 (3) よりよい介護を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。
使用教科書 副教材等	介護福祉基礎（実教出版）

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	介護に必要な知識や意義、役割について体系的・系統的に理解していると共に、関連する介護技術を身に付けている。	介護に関する諸問題を発見し、介護者としての倫理観をふまえて、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	よりよい介護を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	介護の意義と役割 介護福祉の担い手 高齢者の生活と支援 障害者の生活と支援	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	介護を必要とする人の生活を支える支援 介護福祉サービスの概要 介護過程 介護における安全確保と危機管理	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	前期4回以上、後期4回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	各期1回までスクーリング回数に含めることができる。
レポート	前1回～前6回、後1回～後6回のすべてに合格すること。	
試験	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	

5 学習の記録			添削担当者				先生		登録		
スクーリング 回数	学 習 内 容	レポート						スクーリング実施日			
		回	提出日・合格				日 S	月 S	火 S	木 S	
前期	① 介護の意義と役割	前 1	1 3		2 4		4/20	—	4/22	4/17	
	② 介護福祉の担い手①	前 2	1 3		2 4		5/11	—	5/13	5/8	
	③	この回は、実施されません。									
	④ 介護福祉の担い手②	前 3	1 3		2 4		6/8	—	6/10	6/5	
	⑤ 高齢者の生活と支援	前 4	1 3		2 4		6/22	—	6/24	6/19	
	⑥ 障害者の生活と支援①	前 5	1 3		2 4		7/6	—	7/8	7/3	
	⑦ 障害者の生活と支援②	前 6	1 3		2 4		7/20	—	7/22	7/17	
	試験	レポート前 1～前 6 の内容		本 試 験		追 再 試		8/17	—	8/19	8/21
	後期	⑧ 介護を必要とする人の生活を支える支援①	後 1	1 3		2 4		10/12	—	10/14	10/9
⑨ 介護を必要とする人の生活を支える支援②		後 2	1 3		2 4		10/26	—	10/28	10/23	
⑩ 介護福祉サービスの概要		後 3	1 3		2 4		11/9	—	11/11	11/13	
⑪ 介護過程		後 4	1 3		2 4		11/23	—	11/25	11/20	
⑫		この回は、実施されません。									
⑬ 介護における安全確保と危機管理①		後 5	1 3		2 4		12/21	—	12/23	12/18	
⑭ 介護における安全確保と危機管理②		後 6	1 3		2 4		1/11	—	1/13	1/8	
試験		レポート後 1～後 6 の内容		本 試 験		追 再 試		1/25	—	1/27	1/22

6 先生からのメッセージ

介護福祉基礎では、介護が必要な状態になっても人として尊重され、社会の一員として幸せな生活を築いていくための考え方や支援の方法を学びます。専門的な内容ではありますが、「自分らしい生活」や「人と関わり方」が考え方の基本となっているので、福祉・介護系、医療系の進路を考えていない人にとっても、役立つ内容です。